



19950519  
[9501]  
総21号  
発行 桂 坂  
自治連合会  
広報編集部

10回を迎える

# 桂坂統一ふれあいクリーンデー

—ご家族おそろいでご参加を—

来る五月二十一日、第一〇回「桂坂統一ふれあいクリーンデー」を実施することになりました。

振り返れば、昭和六三年にかえて自治会によって始められた環境美化活動でしたが、その後広がりをみせ平成二年秋にはその名称を「桂坂統一ふれあいクリーンデー」と改め、第一回の活動を始めるに至りました。

今年度の環境美化委員会では、「桂坂統一ふれあいクリーンデー」の活動を、各自治会レベルでの一層の取組みとしてお願いしたいと思っております。

今年度の環境美化委員会では、「桂坂統一ふれあいクリーンデー」も十回目を迎える今年度は環境美化委員会の活動も広がりをみせています。

今までの手の回らなかつた放置大型ゴミの収集が今回初めて実施されます。

「美しい街」といわれていても、よく見れば、何ヶ月も放置されたままの壊れた自転車や古タイヤ、果ては

この新しく発展してゆく美しい桂坂地区をわたくしたちの手で維持してゆかためにも、より多くの皆様のご参加をよろしくお願いいたします。

環境美化委員長 野田 亨

## 広がる環境美化運動

「統一ふれあいクリーンデー」も十回目を迎える今年度は環境美化委員会の活動も広がりをみせています。

今までの手の回らなかつた放置大型ゴミの収集が今回初めて実施されます。

「美しい街」といわれていても、よく見れば、何ヶ月も放置されたままの壊れた自転車や古タイヤ、果ては

## 事業計画

平成七年度

■ 住環境の保全と整備

I: 公共施設等の整備拡充

(1) 総合自治会館の建立要請する

(2) 通勤市バス直行便の増発を強く要請する

(3) 交番の新設を要請する

(4) 東部地区に広報板を設置する

II: 防犯・防火等「災害に強い街づくり」

(1) 全域パトロールの強化を要請する

(2) 自主防災会の育成

(3) 交通事故防止方策を推進する

A: 交通規制

イ: 不法駐車等の排除

III: その他

(1) 西京区行政との懇談会を開催し、児童館・保育園の建設などを要請する

(2) 地元住宅関連企業との

青葉若葉の好季節を迎え桂坂の皆様には益々ご清栄のことと存じます。私、去る四月二十三日の桂坂自治連合会総会におきまして、前年に引き続き会長に選出されました。新役員の方々と共に桂坂の発展のため精一杯尽くしたいと思えます。何卒よろしくご指導ご支援の程お願い申し上げます。今回、ご退任されました若林連合会副会長様、各自治会の会長・役員の皆様には日常の諸活動はじめ阪神大震災の義援金・救済物資の調達や、統一クリーンデー、夏祭り、体育祭等の諸行事に積極的にご参加されご尽力を賜り誠にありがとうございます。心から御礼申し上げます。

さて、本年度の自治連合会の取組みですが、

(1) 住環境の保全・整備

(2) 各種団体との緊密化

の二本柱を中心として運営していきたくと考えます。

詳細につきましては、別掲の「平成七年度事業計画」の通りです。

## ご挨拶

桂坂は一体であるとの観点から、昨年、団体長と自治会長、さらに小・中学校長との懇談会（桂坂みどり会）が発足しお互いの立場を理解しながら、問題点を解決し、「人になやましい街づくり、安全に住みよい街づくり」に励むこととの共通認識のもと徐々にその輪を拡げることと努めているところでございます。

その他、総会の席で「要望のありました「児童館・

湯沸かし器や布団までが空き地に捨てられています。これまでも、気付いて清掃局に連絡された方、自宅に持ち帰って大型ゴミとして処分された方もおられるようです。

今回は、このような大型放置ゴミの処分も行われるそうです。前日の土曜日まで、各自治会の環境美化委員の方が中心となって収集します。

委員さんの活躍はもとより、私たち住民一人ひとりの心がけが、私たちの街を美しくします。

■ 住環境の保全と整備

I: 公共施設等の整備拡充

(1) 総合自治会館の建立要請する

(2) 通勤市バス直行便の増発を強く要請する

(3) 交番の新設を要請する

(4) 東部地区に広報板を設置する

II: 防犯・防火等「災害に強い街づくり」

(1) 全域パトロールの強化を要請する

(2) 自主防災会の育成

(3) 交通事故防止方策を推進する

A: 交通規制

イ: 不法駐車等の排除

III: その他

(1) 西京区行政との懇談会を開催し、児童館・保育園の建設などを要請する

(2) 地元住宅関連企業との

懇談会を実施する

桂坂学区の統一クリーンデーを推進する

「洛西の河川を美しくする会」へ積極的に参加する

■ 各種団体との関係を緊密化する

I: 各種団体との連携の強化

(1) 体育振興会への支援

(2) 少年補導委員会の活動への支援

(3) 福祉活動への支援

(4) 文化普及会の育成

(5) 女性会との連携強化

II: 各種委員会の充実と効率的運用

平成7年度 予算

一般会計		1995. 4. 23	
		単位/円	
前年度繰越金	238,493	渉外費	190,000
会費収入	3,038,400	西京自治連合分担金	70,000
雑収入	607	会議費	60,000
		事務費	200,000
		広報費	60,000
		通信・交通費	100,000
		慶弔費	50,000
		備品費	100,000
		文化普及費	50,000
		洛西積立金	150,000
		活動費(期活動費)	180,000
		雑費	160,000
		予備費	52,500
		各種団体助成金	
		自主防災会	260,000
		体育振興会	480,000
		少年補導委員会	370,000
		山の手倶楽部	50,000
		女性会	70,000
		遺族会	25,000
		社会福祉協議会	70,000
		防犯委員会	30,000
		交通安全推進委員会	150,000
		特別会計積立金	300,000
計	3,277,500	計	3,277,500

平成6年度 収支決算報告書

一般会計		1995. 3. 31	
		単位/円	
前年度繰越金	161,847	渉外費	140,000
会費収入	2,847,750	西京自治連合分担金	52,000
雑収入(不-収入)	44,340	会議費	24,630
当期預金利息	991	事務費	185,008
特別会計から	308,230	広報費	58,772
		通信・交通費	24,586
		慶弔費	35,300
		備品費(コピー-機購入)	604,760
		行政懇談会費	18,300
		文化普及費	23,000
		洛西積立金	100,000
		活動費(期活動費)	138,524
		雑費(コピー-機購入の別、あかし会館)	134,685
		各種団体助成金	
		自主防災会	230,000
		体育振興会	480,000
		少年補導委員会	370,000
		山の手倶楽部	30,000
		女性会	50,000
		遺族会	25,100
		社会福祉協議会	50,000
		交通安全推進委員会	50,000
		特別会計積立金	300,000
		次年度繰越高	238,493
計	3,363,158	計	3,363,158

特別会計

前年度繰越金(定期預金) 618,411 オフィス積立金 927,697

今年度特別会計 300,000

預金利息 9,286

合計 927,697 合計 927,697

特別会計

前年度繰越金(定期預金) 609,961 複写機購入補助 308,230

今年度特別会計 300,000 次年度繰越高 618,411

預金利息 16,680

合計 926,641 合計 926,641

平成七年度 自治連合会役員・委員名簿

Table listing board members and committees. Columns include: 会長 (Chairman), 副会長 (Vice Chairman), 事務局 (Secretariat), 局長 (Bureau Chief), 次長 (Deputy Chief), 企画担当 (Planning), 資料担当 (Materials), 議事録担当 (Minutes), 庶務 (General Affairs), 環境美化 (Environment), 河川美化 (River), 井上 (Inoue), 河村 (Kawamura), 防犯 (Crime Prevention), 文化普及 (Culture), 谷口 (Taniguchi).

- 上田 久美 (Ueda Hisami), 藤井 修 (Fujiwara Osamu), 湊 義浩 (Minato Yoshitaka), 河瀬 嘉和 (Kawase Yoshikazu), 東 武 (Aki Takeru), 木村 晋也 (Kimura Shinya).

各種団体等の長

- 市政協力委員会 (Municipal Cooperation), 社会福祉協議会 (Social Welfare), 民生児童委員協議会 (People's Welfare), 保健協議会 (Health), 献血会 (Blood Donation), 共同募金会 (Joint Fundraising), 日赤奉仕団 (Red Cross).

交通安全推進会

森田 啓三 (Morioka Keisaku)

交通安全推進会婦人部

戸田 晴子 (Toda Haruko)

暴力追放協議会

菊池 潤治 (Kikuchi Junji)

防犯推進委員協議会

鹿野 準一 (Kano Junichi)

文化普及会

谷口 隆史 (Taniguchi Takashi)

体育振興会

永江 望昭 (Egami Nozomu)

少年補導委員会

馬江 芳雄 (Uehara Yuhiko)

桂坂・山の手俱樂部

立野 和之 (Tachino Kazuyuki)

桂坂小学校PTA

平手 謙一 (Hirade Kenichi)

桂坂自主防災会

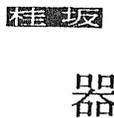
菊池 潤治 (Kikuchi Junji)

女性会

安楽つねみ (Yasaka Tsunemi)

陶器

第1回



- 当日は、陶器・手織り品・木工品の販売、陶芸・織り・木工の体験コーナー、家庭用シーツの無料洗濯、軽食コーナー、協賛店舗、\*リカー&ワインもい、\*COCOストア、\*ピザ サークス、\*ふるさと広場。

五月二十八日(日)午前十時から三時まで、洛西ふれあいの里・授産園で第一回「桂坂陶器祭り」が開催されます。雨天決行。授産園は、知的障害を持つ方が社会人としての自立を目指し、働く喜びを知るための仕事場です。箱作り、織物・陶芸・クリーニングなどの作業が行われています。地域と交流していただける施設にしたいという、かねてからの希望が今回、「陶器祭り」という形で実現しました。



体育振興会

会長 永江望昭

新緑が目に見え、爽やかな季節となつて参りました。桂坂体育振興会も結成以来七年目を迎えております。桂坂学区の皆様方の親睦と連帯の輪を広げたいと、各協力により大会を盛り上げたいと思っております。また、当学区には次のサークルがあり、それぞれの練習日に小学校の施設を開放しております。学童野球 毎日曜日 終日、女子バレー・卓球 毎土曜日、午後六時三十分〜九時、女子バレー 第二・第四金曜日 午後六時三十分〜九時、第三日曜日 午前中、各サークルとも会員を募集致しております。どうか各事業・各サークルに積極的に参加ご協力頂き、親睦的に参加を促し、住みよい街に作りたくと思っております。一人でも多くの方に読んでいただける紙面づくりを心がけ、桂坂に関する情報や私たちが住民の願いを伝えるための広報紙を目指します。ご意見・ご批判をお寄せください。

少年の健全育成の推進

地域の根ざした効果的な

桂坂少年補導委員会 支部長 馬江芳雄

今年度の主な行事の予定が決まりましたのでお知らせいたします。メイン行事としては、やはり夏休みに入ってから、夏季教育キャンプです。今年七月二十八日〜二十九日の一泊二日で、場所は京都府立「るり深少年自然の家」に行くことと決定しております。小学校四年生から六年生の児童と委員及び少年補導委員会の学生部の人たちを交え総勢一二〇名ほどを予定しています。そのほか、日には確定していませんが、八月に桂坂小学校のプール開放、秋には子供スポーツ大会、そして冬の親と子のふれあいデー等、地域のみなさんの参加をいただき開催したいと計画しております。また、学生部の活動に、地域の高校生・大学生の方の参加を募っております。内容については各自治会少年補導委員までご連絡ください。最後に幸いですが、本年度もPTAの方々と始め地域のみなさまのご協力とご支援のほど、よろしくお願いたします。

平成七年度を迎え、少年補導委員会の重点目標には「地域に根ざした効果的な少年の健全育成の推進」があげられております。桂坂支部としてはさらに前年度の反省から広報活動の充実を推進目標としておとすと思っております。補導委員には、新しい「けやき」自治会からも参加していただき、また今年度の委員さんの多数の参加をいただいで前年度以上の活動をするべくはりきっております。新年度の総会の中で役員とブロック長の選出を行い

この「生きがい」を手助けしているのが、山の手俱樂部のサークル活動です。それにはふれ合いがあり、楽しみ、喜び、そして感動があるものと確信しています。その証として、会員の方から「山の手俱樂部に入ってからよかった」という言葉を聞くにつれ、お世話している方々の励みにもなっています。

実は今朝、グラウンドゴルフの練習場へ見学に来られた女性が一人入会を申し出られました。

ある先生は、次のように言っています。「楽しみ、喜び、安らぎがあつて、感動を覚えること」と「生きがい」は人それぞれ違います。勿論他人から強いられるものでなく、自分自身で獲得するものであります。そして、それぞれの「生きがい」によってローマの詩

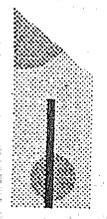
当山の手俱樂部も発足以来四年目を迎えました。発足当時一五九人の会員も、去る第四回の総会で二〇〇人と着々増加している現状です。桂坂地区の特色と言える新しい街づくりの途中ということを考え、私たち高齢者の「新しい出会いによるふれ合いを大切に」して行き、その中に「豊かな生活作り」を求めてほしいと思うのです。一言で言えば、「生きがいづくり」といえるのではないのでしょうか。

「生きがい」によってローマの詩

高齢者の生きがい

桂坂山の手俱樂部 会長 立野和之

当山の手俱樂部も発足以来四年目を迎えました。発足当時一五九人の会員も、去る第四回の総会で二〇〇人と着々増加している現状です。桂坂地区の特色と言える新しい街づくりの途中ということを考え、私たち高齢者の「新しい出会いによるふれ合いを大切に」して行き、その中に「豊かな生活作り」を求めてほしいと思うのです。一言で言えば、「生きがいづくり」といえるのではないのでしょうか。ある先生は、次のように言っています。「楽しみ、喜び、安らぎがあつて、感動を覚えること」と「生きがい」は人それぞれ違います。勿論他人から強いられるものでなく、自分自身で獲得するものであります。そして、それぞれの「生きがい」によってローマの詩



談話室

新年度の自治連合会の活動がスタートしました。素人集団の哀しさにアップアップしながら広報発行が続き、取材・編集から用紙の買出しに印刷まで広報委員の作業による手づかいです。